

東京都立東高等学校 令和7年度 年間授業計画 (2学年)																					
教科 : 芸術科		科目 : 書道Ⅱ																			
対象学年組 : 2年1～7組																					
教科担当者 : 立川 康子																					
使用教科書 : 「書Ⅱ」光村図書																					
教科の目標 :																					
【知識および技能】		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。																			
【思考力、判断力、表現力等】		創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。																			
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたり、芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。																			
科目の目標																					
【知識および技能】			【思考力、判断力、表現力等】					【学びに向かう力、人間性等】													
書道の創造的な諸活動を通して、表現の多様ななどに幅広く理解し、基礎的な技能の向上を図る。			書の美しさを感じ、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばす。					主体的に書の幅広い活動に取り組み、書を愛好し、書の伝統文化についての理解を深める。													
単元の具体的な指導目標			表現			鑑賞	評価基準			知	思	態									
			漢 仮	漢	仮																
1 学 期	漢字の書体や書風を理解し、表現の効果を学ぶ	漢字の書体の変遷 古典作品の比較と鑑賞			○	○	書体の変遷を理解し、各古典の書体や書風と表現効果を味わうことができたか。			○	○	○									
	篆書の用筆、特徴を理解し表現する。	篆書（古典）の鑑賞 臨書と創作			○	○	篆書の表現、技法に関心を持ち、その美を味わい、特徴を捉えた用筆。字形で表現できたか。			○	○	○									
	隷書の用筆、特徴を理解し、表現する。	隷書（古典）の鑑賞 臨書と創作			○	○	隷書の表現、技法に関心を持ち、基本的な点画や用筆の関係を理解して表現できたか。			○	○	○									
	漢字の書風に仮名を調和させた表現の工夫	漢字仮名交じりの書 鑑賞と創作		○		○	漢字の書風を生かし、漢字と仮名を調和させた個性的な表現ができたか。作品の良さを味わうことができたか。			○	○	○									
2 学 期	草書の用筆、特徴を理解し表現する。	草書（古典）の鑑賞 臨書			○	○	草書の表現、技法に関心を持ち、美を味わい、基本的な点画や用筆の関係を理解して表現できたか。			○	○	○									
	書風に即した用筆を工夫し、緩急の変化や躍動感のある表現を学ぶ。	創作 （草書の多彩な表現効果を取り入れる。）			○		草書の多彩な表現方法を生かし、文字の大きさや配置等工夫した意図に応じた創作ができたか。			○	○	○									
	刻字の技法を理解し、個性的な作品を表現する。	語句、書体、構成、色彩等、様々な工夫を取り入れた刻字作品の制作。			○	○	刻字作品の制作に主体的に取り組み、漢字の書体、書風に即した個性的な表現ができたか。			○	○	○									
	芸術としての書を味わう。	近世以降の書の作品を鑑賞 創作（座右の銘等）	○			○	鑑賞や臨書による知識、技能を生かした創造的な書表現を工夫することができたか。			○	○	○									
3 学 期	仮名（古筆）の書の表現技法を理解し、表現する。	古筆の鑑賞と臨書創作（百人一首）				○	古筆の多彩な表現の美を味わい、表現技法を取り入れた臨書や空間を生かした散らし書きの表現ができたか。			○	○	○									
	仮名の書風に漢字を調和させた表現の工夫	漢字仮名交じりの書 鑑賞と創作		○		○	古筆の書風を生かし、漢字と仮名を調和させた意図に応じて工夫し構成した表現ができたか。			○	○	○									
										合計		70									

合計	70
----	----